

対象年度	令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業					予算事業名	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム整備
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			03	01	04	2021	経常経費
総合計画体系	1ともに支えあい，安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)					事業の区分	主要事業
	1-4ゆとりをもって暮らせる高齢者福祉の充実(高齢者福祉)						
	②地域包括ケアシステムの構築					担当課係等	長寿福祉課
事業期間	4ひとり暮らし高齢者などの見守り体制の整備						長寿支援係
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】			【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
ひとり暮らし高齢者等の突発的な災害，急病，事故等の緊急事態に対する不安を解消し，安心して暮らせる環境をつくる							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】			【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
対象者に対し，ガス，火災センサー付きの通報装置を設置し，火災時や体調不良時など緊急時に迅速な救援・救護を行う。			在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯で世帯員のいずれかが要介護4，5相当の認定を受けている世帯				
			【事業をとりまく環境の変化】				
			高齢化に伴い，ひとり暮らしや高齢者のみ世帯も増加傾向にある。緊急時にはひとりであること，高齢者のみであることが予想されるため，迅速に救援するために非常に有効な事業である。				
【令和2年度 事業内容】			【令和3年度 事業内容】			【令和4年度 事業内容】	
高齢者単身又は高齢者世帯に対して，緊急通報装置を貸与することにより，突発的な災害，急病事故等の緊急事態に対する不安を解消するため，継続実施。			高齢者単身又は高齢者世帯に対して，緊急通報装置を貸与することにより，突発的な災害，急病事故等の緊急事態に対する不安を解消するため，継続実施。			高齢者単身又は高齢者世帯に対して，緊急通報装置を貸与することにより，突発的な災害，急病事故等の緊急事態に対する不安を解消するため，継続実施。	

■事業費

		H30年度	R01年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	859	905			
	一般財源	6,555	8,192			
歳入計(千円)		7,414	9,097			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	11 需用費	0	37			
	12 役務費	3	6			
	13 委託料	3,603	4,567			
	18 備品購入費	3,808	4,487			
歳出計(千円)(A)		7,414	9,097			
伸び率(%)			22.70			
備考	総合計画62ページ 予算書78ページ					

# 平成30年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動指標	緊急通報装置設置台数	台	目標	31.00	31.00	31.00
	高齢者が在宅で安心して生活するため、緊急通報装置貸与を行う		実績	27.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	緊急通報装置利用台数	台	目標	389.00	396.00	360.00
	高齢者が在宅で安心して生活するため、緊急通報装置貸与を行う		実績	332.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	民間企業が多く参入しているため、直営で機器貸与を実施することについて、費用対効果等を検討することも必要であると考えます。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	民間企業が多く参入しているため、直営実施について、費用対効果等を検討することも必要であると考えます。
	手段の妥当性	A 妥当である	高齢者宅に消防署と直結している通報装置を設置し、緊急事態に備える手段は妥当であると考えます。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	民間企業が多く参入しているため、費用対効果等を検討することも必要であると考えます。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	設置条件が決められているため、受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	利用者の高齢による判断力低下に伴い、機器の使用方法等を忘れてしまうケースや、認知症により頻繁に通報をしてしまう事例が見受けられる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	利用申請のあった者から順次設置をしており、設置待機者はいない状況である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
在宅高齢者や、その家族の緊急事態に対する不安の解消につながっている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
在宅高齢者や、その家族の緊急事態に対する不安の解消につながっていることから、現状を維持して実施していく。			

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） ひとり暮らし高齢や高齢者のみ世帯が増加している中で、在宅高齢者の緊急事態に対する不安解消に寄与している事業である。しかし、高齢者の通信環境が変化していることや民間企業による多様なサービスが参入してきている現状を考慮し、直営による事業継続について検討の必要がある。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。